

# 第16章 災害・消防・警察・海上保安

1 災 害	373
16-1 平成20年中の台風・大雨等による被害状況	374
16-2 市町村別台風・大雨等による被害状況	374
16-3 年次別台風・大雨等被害状況	375
2 消 防	376
(1) 火災発生状況	
(2) 消防現勢	
16-4 市町村別の火災発生状況	377
16-5 月別火災発生状況	377
16-6 原因別火災発生状況	377
16-7 大火災発生状況（損害額2,000万円以上）	377
16-8 消防現勢	378
3 警 察	379
(1) 交通事故発生状況	
(2) 刑法犯発生状況	
16-9 市町村別交通事故発生状況	380
16-10 市町村別刑法犯発生状況	381
4 海 上 保 安	382
16-11 海難事故の発生状況	382
16-12 海上における人身事故	383
16-13 機動力（巡視船艇）	383
16-14 民間救助組織	383
16-15 船舶交通安全協議会	384
16-16 奄美海上保安部が管理する航路標識の市町村別設置状況	384
16-17 奄美群島地区スキューバダイビング安全対策協議会	384



# 1 災 害

平成20年は、大雨や台風13号によって災害が発生した。

人的被害についてはなかったが、被害総額では約1億4千万円となり、前年と比べて約5億7千万円減と大幅に減少した。

年間の被害額を項目別に見ると、公共土木施設の被害が約1億円（被害総額の72.8%）で最も多く、次いで農林水産業施設被害の約3千万円（同25.1%）などとなっている。

16-1 平成20年中の台風・大雨等による被害状況 (数値は市町村の報告による)

期 間	台 風 大 雨 等	人的被害 (人)		住 家 被 害 (棟)					非住家 被 害 (棟)
		死 亡 不 明	負 傷	全 壊	半 壊	一 部 破 損	床 上 浸 水	床 下 浸 水	
20. 4. 17	大 雨	0	0	0	0	0	0	1	0
20. 6. 2	大 雨	0	0	0	0	1	0	0	0
20. 6. 7	大 雨	0	0	1	1	1	0	0	0
20. 6. 9	大 雨	0	0	0	0	0	0	0	0
20. 9. 17~18	台風13号	0	0	0	0	0	1	29	0
20. 11. 6	大 雨	0	0	0	0	0	35	42	0
計		0	0	1	1	2	36	72	0

16-2 市町村別台風・大雨等による被害状況 (数値は市町村の報告による)

資料：大島支庁総務企画課  
 期間：平成20年1月～12月  
 単位：千円

区 分 市町村名	人的被害 (人)	農林水産業 施 設	公 共 土 木 施 設	そ の 他 の 公 共 施 設	農 産 被 害	そ の 他	合 計
奄 美 市	0	0	0	0	682	176	858
大 和 村	0	0	25,788	0	0	0	25,788
宇 検 村	0	0	9,200	0	0	0	9,200
瀬 戸 内 町	0	0	10,078	0	0	0	10,078
龍 郷 町	0	34,742	48,100	0	0	0	82,842
喜 界 町	0	0	0	0	0	0	0
徳 之 島 町	0	0	0	0	0	0	0
天 城 町	0	0	0	0	0	0	0
伊 仙 町	0	0	7,381	2,000	0	0	9,381
和 泊 町	0	0	0	0	0	0	0
知 名 町	0	0	0	0	0	0	0
与 論 町	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	34,742	100,547	2,000	682	176	138,147

資料：大島支庁総務企画課

期間：平成20年1月～12月

被 害 金 額 (単位：千円)											備 考 被害地域等
農 林 水 産 施 設	公 共 土 木 施 設	そ の 他 の 公 共 施 設	農 産 被 害	林 産 被 害	畜 産 被 害	水 産 被 害	商 工 被 害	そ の 他	計		
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	奄美市
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	龍郷町
0	25,788	0	0	0	0	0	0	0	25,788	0	大和村
0	28,200	0	0	0	0	0	0	0	28,200	0	宇検村, 龍郷町
0	17,459	2,000	682	0	176	0	0	0	20,317	0	瀬戸内町, 龍郷町, 伊仙町
34,742	29,100	0	0	0	0	0	0	0	63,842	0	龍郷町
<b>34,742</b>	<b>100,547</b>	<b>2,000</b>	<b>682</b>	<b>0</b>	<b>176</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>138,147</b>	<b>0</b>	

### 16-3 年次別台風・大雨等被害状況

(数値は市町村の報告による)

資料：大島支庁総務企画課

期間：平成20年1月～12月

単位：千円

区 分 年 次	住 家 等	農 林 水 産 業 施 設	公 共 土 木 施 設	そ の 他 の 公 共 施 設	農 産 被 害	そ の 他	合 計
平成 10	8,602	173,350	1,279,300	300	148,307	37,300	1,647,159
11	35,960	585,677	944,220	10,145	449,883	13,580	2,039,465
12	325,704	502,897	1,199,701	39,250	861,311	41,764	2,970,627
13	17,158	13,400	50,500	5,395	766,708	12,705	865,866
14	476,376	246,234	313,700	108,825	958,647	184,938	2,288,720
15	58,387	50,426	306,525	44,757	815,988	126,567	1,402,650
16	—	395,149	2,070,314	327,493	1,669,073	312,971	4,775,000
17	—	226,395	915,665	109,980	127,524	39,612	1,419,176
18	—	17,000	109,597	700	19,380	7,500	154,177
19	—	20,130	333,400	87,607	216,495	47,230	704,862
20	—	<b>34,742</b>	<b>100,547</b>	<b>2,000</b>	<b>682</b>	<b>176</b>	<b>138,147</b>

(注)「住家等」については、平成16年度以降、集計されていない。

## 2 消 防

### (1) 火災発生状況

平成19年中の火災発生件数は103件で、前年に比べ11件増加しており、約4日に1件の割合で火災が発生したことになる。

市町村別では、奄美市が30件（奄美群島全火災の29.1%）で最も多く、次いで、知名町12件、伊仙町11件、天城町9件、瀬戸内町、和泊町8件、龍郷町7件、喜界町6件、徳之島町5件、大和村4件、与論町3件、宇検村0件の順となっている。

人口（平成19年3月31日住民基本台帳による）1万人当たりの出火件数を表す出火率では、大和村の21.7が最も高く、次いで知名町の17.2、伊仙町の14.3、天城町の12.6、龍郷町の11.5の順となっている。

火災種別にみると、「建物」火災が47件（奄美群島全火災の45.6%）で最も多く前年に比べ3件の増加、「林野」火災が5件（同4.9%）で前年に比べ1件の減少、「車両」火災が5件（同4.9%）で前年に比べ3件の増加、「航空機」火災が1件（同1.0%）で前年に比べ1件の増加、「その他」火災（田畑の野焼き等の火災）が45件（同43.6%）で前年に比べ6件の増加となっている。

火災による死者は4人で、前年に比べ1人の減少である。また、負傷者は6人で前年に比べ2人の増加となっている。

焼損棟数は64棟で前年に比べ5棟の減少、り災世帯数は36世帯で前年に比べ9世帯の減少、り災人員は86人で前年に比べ14人の減少となっている。

損害額は562,674千円で、前年に比べ374,640千円の増加で、火災1件当たり約5,463千円、1日当たり約1,542千円が灰になったことになる。

損害額2千万円以上の大きな火災は、奄美市で1件、徳之島町で2件発生している。

出火原因では、野焼き等をする際の「火入れ」が23件（全火災の22.3%）で最も多く、次いで「たき火」13件（同12.6%）、「こんろ」10件（同9.7%）、「たばこ」、「放火の疑い」4件（同3.9%）の順となっている。

### (2) 消 防 現 勢

消防本部数、消防団数は前年と変わりはない。消防職員は235人で前年と比べ7人増加し、条例定員に対する充足率は、97.9%である。

また、消防吏員232人の平均年齢は41.6歳となっている。

消防団員は、1,519人で前年に比べ9人増加し、平均年齢は42.1歳で条例定員に対する充足率は94.7%となっている。消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ等の消防機械のうち、ポンプの充足率は、平成18年4月1日現在で消防本部94%、消防団92%となっている。

また、火災鎮圧のため必要不可欠な消防水利については、平成18年4月1日現在で充足率96%となっており、充足率の高いところは知名町の178%で、最も低いところは天城町の65%となっている。

消防団が管理する消防ポンプ及び消防水利充足率の県平均は、消防ポンプが98%、消防水利は74%であり、県平均と比較すると、消防水利充足率は県平均以上であるが、消防ポンプ充足率については、県平均以下となっている。

### 16-4 市町村別の火災発生状況

資料：鹿児島県消防保安課  
期間：平成19年1月～12月

市町村名	出火件数							損害額(千円)						焼損棟数				り災世帯数			死傷者		損害面積		1件当たりの損害額(千円)					
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	り災人員		死者	負傷者	建物床面(m <sup>2</sup> )	林野(a)	
大島地区消防組合	奄美市	30	16	3	1		10	52,142	52,042					100	24	5	1	3	15	13	4	1	8	36		2	687	31	1,738	
	大和村	4	4					8,092	8,092					4	2		1	1		4	2		2	6		1	146		2,023	
	宇検村																													
	瀬戸内町	8	3	2	1		2	16,490	16,440					50	6	3		3		5	2			3	11		1	315	14	2,061
	龍郷町	7			1			55				55																		8
	喜界町	6	3		1		2	11,326	10,944			382			4	3	1			3	3			5	1	1	211		1,888	
計	55	26	5	4	0	20	88,105	87,518	0	437	0	0	150	38	13	2	7	16	25	11	1	13	58	1	5	1,359	45	1,602		
徳之島	徳之島町	5	3			1	1	462,599	22,557			440,000	42	6	2	1	3		2	1		1	4	1			195		92,520	
	天城町	9	5				4	7,324	7,254				70	6	2	1	2	1	1				1	2			84		814	
	伊仙町	11	6				5	2,583	2,545				38	7	2		3	2	4	1			3	6	1	1	45		235	
	計	25	14	0	0	1	10	472,506	32,356	0	0	0	440,000	150	19	6	2	8	3	7	2	0	5	12	2	1	324	0	18,900	
沖与論	和泊町	8	3				5	803	779				24	3	2				1	1			1	7			69		100	
	知名町	12	3				9	1,220	1,205				15	3	1		2		2	1			1	4	1		89		102	
	与論町	3	1		1		1	40	5		35			1				1	1				1	5					13	
	計	23	7	0	1	0	15	2,063	1,989	0	35	0	0	39	7	3	0	2	2	4	1	0	3	16	1	0	158	0	90	
合計	103	47	5	5	0	45	562,674	121,863	0	472	0	440,000	339	64	22	4	17	21	36	14	1	21	86	4	6	1,841	45	5,463		
平成18年	92	44	6	2	1	39	215,034	201,198	0	3,657	8,268	0	1,911	69	32	6	14	17	45	26	2	17	100	5	4	2,640	11	2,337		
比較	11	3	△1	3	△1	1	347,640	△19,335	0	△3,185	△8,268	440,000	△1,572	△5	△10	△2	3	4	△9	△12	△1	4	△14	△1	2	△799	34	3,126		

### 16-5 月別火災発生状況

資料：鹿児島県消防保安課  
期間：平成19年1月～12月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件数	9	15	11	13	10	4	11	1	7	7	8	7	103
前年件数	8	9	6	9	9	4	8	4	9	11	10	5	92
増減数	1	6	5	4	1	0	3	△3	△2	△4	△2	2	11

### 16-6 原因別火災発生状況

資料：鹿児島県消防保安課  
期間：平成19年1月～12月

順位	①	②	③	④	④	⑥	⑥	⑧	⑧	⑧	⑪	⑪	⑪	⑪	⑪	⑪	⑪	⑪	⑪											計
	火入れ	たき火	こんろ	たばこ	放火	電灯電話等の配線	配線器具	放火の疑い	火遊び	交通機関内配線	電気機器	電気装置	風呂かまど	衝突の火花	マッチ・ライター	溶接機・切断機	灯火	排気管	ストーブ	ボイラー	かまど	内燃機関	煙突・煙道	その他	不明・調査中					
件数	23	13	10	4	4	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	19	9	103				
前年件数	20	9	6	5	1	1	0	4	4	0	2	1	1	0	1	1	1	0	0	2	1	1	1	19	11	92				
前年順位	①	②	③	④	⑨	⑨		⑤	⑤		⑦	⑨	⑨		⑨	⑨	⑨			⑦	⑨	⑨	⑨							
増減数	3	4	4	△1	3	2	3	△2	△2	2	△1	0	0	1	0	0	0	1	1	△2	△1	△1	△1	0	△2	11				

### 16-7 大火災発生状況(損害額2,000万円以上)

資料：鹿児島県消防保安課  
期間：平成19年1月～12月

出火月日	出火時刻	市町村名	火元の用途	原因	焼損棟数	り災世帯	り災人員	死者	負傷者	焼損面積(m <sup>2</sup> )	損害額(千円)
2月3日	11:26	徳之島町	住宅	こんろ	1	2	4	1	0	126	20,128
3月30日	23:13	徳之島町	自衛隊ヘリ	火花				0	0		440,000
7月27日	13:20	奄美市	住宅	不明	1	1	6	0	0	130	22,934

# 16-8 消 防 現 勢

資料：鹿児島県消防保安課  
期日：平成20年4月1日

区分 市町村名	消防団 (消防本部)		消防団(職員)			消 防 ポ ン プ 等							消 防 水 利				
	団 ・ 本 部 数	分 団 数	条 例 定 数	現 員	平 均 年 齢	自 消 防 動 車 数	ボ 水 ポン プ 自 動 消 防 車	付 は 消 防 し 自 動 車	小 型 動 力 ポ ン プ		救 急 自 動 車	そ の 他	ポ ン プ 充 足 率	消 火 栓	防 火 水 そう 他	そ の 他	充 足 率
									付 小 型 積 載 ポ ン プ	い 車 両 に 積 載 し て							
奄美市		19	452	410	43.8	8	2	-	40	6	-	2	90	419	141	30	88
大和村		5	52	51	38.9	1	-	-	9	-	-	-	100	-	28	10	97
宇検村		7	82	81	42.3	1	-	-	7	-	-	-	100	6	25	2	97
瀬戸内町		4	130	126	44.6	1	1	-	12	33	-	-	95	66	62	4	96
龍郷町		14	146	142	44.3	2	3	-	3	6	-	-	100	18	67	3	85
喜界町		10	120	119	39.7	2	2	-	6	1	-	2	100	-	122	4	66
大島地区消防組合	1	-	154	150	40.8	2	5	2	-	-	13	14	91	-	-	-	-
徳之島町		11	161	151	43.3	1	5	-	11	3	-	1	104	30	92	11	77
天城町		3	80	75	42.6	1	1	-	1	3	-	1	83	58	58	16	65
伊仙町		8	74	68	40.7	1	1	-	2	1	-	-	89	32	55	7	90
徳之島地区消防組合	1	-	49	48	44.4	-	3	-	-	-	4	1	100	-	-	-	-
和泊町		6	100	100	39.0	1	5	-	1	-	-	2	83	-	82	-	101
知名町		13	135	131	37.5	2	7	-	5	-	-	-	68	115	129	5	178
与論町		3	72	65	40.8	1	3	-	1	1	-	1	160	67	76	11	174
沖永良部与論地区 広域事務組合	1	-	37	37	41.4	-	2	-	-	-	4	2	100	-	-	-	-
(本部)		-	240	235	41.6	2	10	2	-	-	21	17	94	-	-	-	-
計	団12	103	1,604	1,519	42.1	22	30	-	98	54	-	9	92	811	937	103	96

注1 ポンプ充足率及び消防水利充足率は、平成18年4月1日現在（3年に1回調査）である。

注2 消防職員の平均年齢は消防吏員の平均である。



## 3 警 察

### (1) 交通事故発生状況

平成20年の交通事故の総発生件数（人身）は、348件で前年に比べ6件減少した。

交通事故による死者は10人で、前年に比べ2人増加、傷者については379人で24人減少した。

件数を市町村別にみると、奄美群島で件数の最も多いのは奄美市の171件（全体の49.1%）で、次いで徳之島町38件（同10.9%）となっている。また、島別に件数の割合をみると、大島本島62.6%、喜界島5.5%、徳之島20.7%、沖永良部島8.3%、与論島2.9%となっている。

死者は、奄美市で6人、徳之島町で2人、大和村、天城町で各1人の合計10人となっており、前年からすると増加している。

人口1万人当たりの死傷者数は、伊仙町が49人、奄美市が39人、徳之島町が34人となっており、最も少ないのは宇検村の10人となっている。

### (2) 刑法犯発生状況

平成20年の刑法犯の総認知件数は、773件で前年に比べ74件の減少となっている。

市町村別にみると件数が最も多いのが、奄美市の417件（全体の53.9%）で前年と比べると70件の減少、次いで瀬戸内町の77件（同10.0%）で前年に比べ18件増加した。

罪種別にみると、窃盗犯が559件（全体の72.3%）と犯罪の大部分を占めている。検挙件数は358件となっている。

## 16-9 市町村別交通事故発生状況

資料：県警察本部交通企画課  
期間：平成20年1月～12月

区分 市町村名	人口	件数	死者	傷者	前年比増減			車両台数			人口1万人 当たりの 死傷者数
					件数 (人身)	死者	傷者	原付・自二 特殊農耕	自動車	合計	
<b>総数</b>	121,166	348	10	379	-6	2	-24	25,827	78,004	103,831	32.1
<b>大島本島</b>	67,554	218	7	230	-27	1	-49	10,519	38,830	49,349	35.1
奄美市	47,482	171	6	179	-25	2	-46	7,958	26,578	34,536	39.0
大和村	1,905	3	1	2	3	1	2	135	1,158	1,293	15.7
宇検村	1,971	2		2	1		1	149	1,420	1,569	10.1
瀬戸内町	10,120	28		31	8	-1	10	1,594	5,655	7,249	30.6
龍郷町	6,076	14		16	-14	-1	-16	683	4,019	4,702	26.3
<b>喜界島</b>	8,251	19		21	5		5	1,834	5,913	7,747	25.5
喜界町	8,251	19		21	5		5	1,834	5,913	7,747	25.5
<b>徳之島</b>	25,762	72	3	82	7	2	6	5,503	19,776	25,279	33.0
徳之島町	12,371	38	2	40	6	1	2	2,813	8,655	11,468	34.0
天城町	6,664	10	1	9	-9	1	-11	1,469	5,216	6,685	15.0
伊仙町	6,727	24		33	10		15	1,221	5,905	7,126	49.1
<b>沖永良部島</b>	14,034	29		30	6	-1	5	5,606	10,148	15,754	21.4
和泊町	7,234	17		18	2	-1	1	2,949	5,228	8,177	24.9
知名町	6,800	12		12	4		4	2,657	4,920	7,577	17.6
<b>与論島</b>	5,565	10		16	3		9	2,365	3,337	5,702	28.8
与論町	5,565	10		16	3		9	2,365	3,337	5,702	28.8

注：1 人口は平成20年10月1日現在  
2 車両台数は平成20年3月末現在

## 16-10 刑法犯市町村別発生状況

資料：鹿児島県警察本部刑事企画課  
期間：平成20年1月～12月

市区町村	包括罪種		凶 悪 犯	粗 暴 犯	窃 盗 犯	知 能 犯	風 俗 犯	その他の 刑 法 犯	総 計	平成19年 の 状 況
名 瀬 市	認知		0	0	0	0	0	0	0	0
	検挙		0	0	0	0	0	0	0	2
奄 美 市	認知		3	25	304	16	2	67	417	487
	検挙		3	25	124	11	4	18	185	154
大 和 村	認知		0	0	6	0	0	4	10	7
	検挙		0	0	2	0	0	2	4	1
宇 検 村	認知		0	1	2	1	0	0	4	6
	検挙		0	1	1	1	0	0	3	1
瀬 戸 内 町	認知		1	11	42	5	0	18	77	59
	検挙		1	10	15	2	1	4	33	24
住 用 村	認知		0	0	0	0	0	0	0	0
	検挙		0	0	3	0	0	0	3	0
龍 郷 町	認知		1	1	34	1	0	3	40	32
	検挙		1	1	14	1	0	1	18	12
笠 利 町	認知		0	0	0	0	0	0	0	0
	検挙		0	0	0	0	0	0	0	0
喜 界 町	認知		1	7	34	2	0	4	48	30
	検挙		1	7	4	2	0	1	15	8
徳 之 島 町	認知		1	2	58	2	0	8	71	99
	検挙		1	2	35	2	0	3	43	34
天 城 町	認知		1	1	10	1	0	2	15	29
	検挙		1	1	5	0	0	2	9	11
伊 仙 町	認知		0	2	19	0	0	4	25	23
	検挙		0	2	7	0	0	1	10	7
和 泊 町	認知		0	2	27	1	1	2	33	21
	検挙		1	2	10	0	1	1	15	15
知 名 町	認知		0	1	17	2	1	4	25	35
	検挙		0	1	8	1	1	2	13	14
与 論 町	認知		0	1	6	0	0	1	8	19
	検挙		0	1	5	0	0	1	7	3
総 計	認知		8	54	559	31	4	117	773	847
	検挙		9	53	233	20	7	36	358	286

※数値については、平成21年1月15日現在暫定値。検挙件数については、発生地計上方式をとっている。

また、市町村合併のあった発生地については、認知時の市町村で計上を行っている。

### 包括罪種の内訳

- 凶 悪 犯……殺人，強盗，放火，強姦
- 粗 暴 犯……暴行，傷害，脅迫，恐喝など
- 窃 盗 犯……窃盗
- 知 能 犯……詐欺，横領，偽造など
- 風 俗 犯……賭博，わいせつ
- その他刑法犯……上記以外の刑法犯

## 4 海上保安

奄美海上保安部管内において、平成20年に発生した船舶海難は、18隻であり前年に比べ1隻減少した。

種類別に見ると衝突6隻、乗揚5隻、機関故障4隻、転覆2隻、火災1隻となっている。原因別では、見張り不十分、船体機器整備不良、船位不確認等的人的ミスによるものが大半を占めている。

一方、平成20年に発生した人身事故者数については30名であり、前年より7名増加し、死亡・行方不明者も12名と増加している。なお、この人身事故の内訳として、海浜事故（磯遊び中、磯釣り等）に因るものが21名となっている。

これら海難事故が発生した場合には、早急な救助活動を実施する必要があるが、南北約220キロに及ぶ地域に多くの離島をかかえた奄美海上保安部管内においては、地元海事関係者等による、ボランティア精神に基づく民間救助団体の組織化及びその協力が不可欠である。これらの状況を踏まえて、「鹿児島県水難救済会と論救難所」が、平成7年1月31日と論町に設置されたのを契機として、平成14年7月1日までに奄美群島内の全市町村に救難所が設置され、救助活動を実施している。

さらに、漁業組合やプレジャーボート関係者等を母体として組織された各地区小型船交通安全協議会が、海上における小型船等による海難事故の未然防止を図るため活動を実施している。

平成19年4月から奄美海上保安部交通課が発足し、これまでの航行援助業務（航路標識業務、情報提供業務）に航行安全業務（海難調査、船舶交通の障害の除去、港則及び海難防止に関すること等）を加え海上交通業務を一元的に行うようになった。

この航行安全業務の一環として名瀬港内における港船舶交通の安全及び港内の整とんを図るため、名瀬港長として海上作業工事・行事及び危険物荷役の許可や入出港届の受理等の許認可の業務を行っている。また、同課が管理する航路標識は、管内で最初に設置された曾津高崎灯台（明治29年11月初点）を初めとする沿岸灯台18基、その他の防波堤灯台・導灯・指向灯・照射灯20基の合計38基となっている。

一方、情報提供業務は、平成15年2月からMICS（沿岸域情報システム）を運用し、奄美群島の沿岸を航行する船舶・漁船等やマリンレジャーを楽しむ人々が安全に活動できるよう、海の安全に関する情報（灯台で観測された気象情報やライブ映像、海上工事等）をインターネット・ホームページ（携帯電話を含む。）等でリアルタイムに提供し海難の未然防止に役立っている。

### 16-11 海難事故の発生状況

#### (ア) 要救助船舶隻数等の推移

項目	年	平成18年	平成19年	平成20年
海 難 隻 数 (隻)		28	19	18
死 亡 ・ 行 方 不 明 者 数 (人)		2	0	1

#### (イ) 船舶海難の種類別内訳

(隻)

項 目	衝突	乗 揚	転 覆	火 災	浸 水	機 関 故 障	推 進 器 障 害	運 航 阻 害	行 方 不 明	そ の 他	合 計
平 成 1 8 年	3	6	7	1	0	4	3	3	0	1	28
平 成 1 9 年	5	2	1	0	0	5	0	2	0	4	19
平 成 2 0 年	6	5	2	1	0	4	0	0	0	0	18

## 16-12 海上における人身事故

### (ア) 人身事故者数の推移

(人)

項目	年	平成18年	平成19年	平成20年
事故者数		26	23	30
死亡・行方不明者数		17	7	12

(注) 死亡・行方不明者数は、事故者数の内数。

### (イ) 人身事故の種類別内訳

(人)

	船舶乗船中の人身事故					海浜事故				合計
	海中転落	負傷	病気	中毒	その他	遊泳中	磯遊び中	磯釣中	その他	
平成18年	3	1	2	0	0	2	4	1	13	26
平成19年	1	2	5	0	0	2	4	1	8	23
平成20年	1	5	3	0	0	3	1	4	13	30

## 16-13 機動力(巡視船艇)

船名	所属	総トン数	航行区域	就役年月
かいもん	奄美海上保安部	220	近海	平成16年4月
いそなみ	〃	149	近海	昭和56年3月
はるかぜ	〃	26	沿海	平成8年11月
ほしかぜ	古仁屋海上保安署	26	沿海	平成8年11月
ばるさあ	〃	4.7	沿海	平成8月3月

## 16-14 民間救助組織

組織の区分	組織の名称	代表者	住所	救助勢力
鹿児島県水難救済会	与論救難所	南政吾	鹿児島県大島郡与論町茶花32-1	人員 79名
鹿児島県水難救済会	和泊救難所	伊地知実利	鹿児島県大島郡和泊町和泊10	人員 36名
鹿児島県水難救済会	知名救難所	平安正盛	鹿児島県大島郡知名町知名307	人員 155名
鹿児島県水難救済会	喜界救難所	加藤啓雄	鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地	人員 97名
鹿児島県水難救済会	天城救難所	大久幸助	鹿児島県大島郡天城町平土野2691-1	人員 64名
鹿児島県水難救済会	伊仙救難所	大久保明	鹿児島県大島郡伊仙町伊仙1842	人員 112名
鹿児島県水難救済会	龍郷救難所	田畑茂光	鹿児島県大島郡龍郷町浦110	人員 320名
鹿児島県水難救済会	住用支所	平田隆義	鹿児島県奄美市住用町大字西仲間111	人員 150名
鹿児島県水難救済会	笠利支所	平田隆義	鹿児島県奄美市笠利町大字中金久141	人員 170名
鹿児島県水難救済会	宇検救難所	國馬和範	鹿児島県大島郡宇検村湯湾915	人員 245名
鹿児島県水難救済会	大和救難所	永田武光	鹿児島県大島郡大和村大和浜100	人員 190名
鹿児島県水難救済会	名瀬支所	平田隆義	鹿児島県奄美市名瀬幸町25-8	人員 335名
鹿児島県水難救済会	瀬戸内救難所	房克臣	鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津23	人員 49名
鹿児島県水難救済会	徳之島町救難所	高岡秀規	鹿児島県大島郡徳之島町亀津7203	人員 212名

## 16-15 船舶交通安全協議会

組織の名称	会員数	設立年月日	主な活動海域
奄美地区小型船交通安全協議会	50名	昭和49年12. 17	奄美大島（奄美市名瀬）
瀬戸内町小型船舶交通安全協議会	66名	昭和57年10. 6	奄美大島（瀬戸内町）
喜界島地区小型船交通安全協議会	54名	平成 5年 9. 27	喜界島周辺海域
奄美群島瀬渡船安全対策協議会	12名	昭和60年 7. 29	奄美大島（奄美市名瀬）
与論島地区小型船交通安全協議会	50名	平成 5年 9. 27	与論島周辺海域
沖永良部島・和泊地区小型船交通安全協議会	40名	昭和60年 7. 29	沖永良部島周辺海域

## 16-16 奄美海上保安部が管理する航路標識の市町村別設置状況

期日：平成20年12月31日  
単位：基

市町村別	区分	灯	台	導	灯	指	向	灯	照	射	灯	計
( 奄 美 大 島 )			15		1					1		17
奄 美 市			7		1							8
大 和 村			1									1
宇 検 村												
瀬 戸 内 町			6									6
龍 郷 町			1						1			2
( 喜 界 島 )			4		1							5
喜 界 町			4		1							5
( 徳 之 島 )			5		1				1			7
徳 之 島 町			2		1				1			4
天 城 町			2									2
伊 仙 町			1									1
( 沖 永 良 部 島 )			2		2		1					5
和 泊 町			1		2							3
知 名 町			1				1					2
( 与 論 島 )			2		1		1					4
与 論 町			2		1		1					4
合 計			28		6		2		2			38

(注) 奄美大島には、加計呂麻島、請島、与路島を含む。

## 16-17 奄美群島地区スキューバダイビング安全対策協議会

会長名	事業所名	加入団体数	設立年月
中 田 留 弘	奄美ダイビングセンターとめ	49	平成元年 4月